

第1号議案 平成29年度事業報告（案）

1. 平成29年度事業報告（案）

1. 1 一般行事報告

平成29年度は次のような行事を実施した。

講演会	1回	報告会	1回
講習会	2回	若手セミナー	2回
見学会	1回	実技セミナー	1回
シンポジウム	1回		

それぞれの詳細は以下に記載するとおりであり、ご協力を賜った関係各位に厚く御礼申しあげる。

【1】講演会

総会時特別講演会

日時：平成29年4月17日(水) 16:00～16:50

会場：大阪市中央公会堂

内容と講師：「安全安心の確保と大阪・関西の成長に向けて」

竹内 廣行（(公社)地盤工学会関西支部 平成28年度支部長）

参加人数：183名

【2】報告会

平成29年度施工技術報告会「最近の建設・保全・環境技術と施工事例」

日時：平成30年2月14日(水) 13:30～16:50

会場：建設交流館 グリーンホール

報告件数：5件

内容と講師：

開会挨拶 楠見 晴重（(公社)地盤工学会関西支部 支部長）

技術報告発表

「導坑から地山改良を行い脆弱な盛土直下を掘削した事例」

－大和御所道路新田東佐味トンネル南工区工事－

下垣 裕幸（前田建設工業（株） 関西支店 新田東佐味トンネル作業所）

「高速道路ランプ部への矩形シールド工法の導入実績」

－常磐工区開削トンネル工事－

加藤 淳司（鹿島建設（株） 関西支店 常磐工区JV 工事事務所）

「厳しい条件下での道路盛土工事における工期短縮事例」

－和歌山岬道路下孝子地区道路改良他工事－

栗原 正美（(株)大林組 大阪本店 岬道路工事事務所）

「プレキャスト工法による大断面ボックスカルバートの施工」

－新名神高速道路東畦野トンネル工事－

豊田 大（(株)奥村組 西日本支社 土木第2部 東畦野トンネル工事所）

「歴史的建造物（レンガ建屋等）の改築更新・耐震化の施工例」

－蹴上浄水場第1 高区配水池改良工事－

北村 徹二（(株)鴻池組 大阪本店 蹴上浄水場工事事務所）

閉会挨拶 深川 良一（(一社)日本建設機械施工協会関西支部 支部長）

参加人数：132名

【3】講習会

宅地地盤の品質評価に関する技術講習会

日 時：平成29年7月6日(木) 9:30～17:30

会 場：建設交流館7階 会議室702

内容と講師：

宅地の造成、土砂災害に関わる法制度、技術者倫理

本田 周二（地盤基礎コンサルティングオフィス）

地住宅等（小規模建築物）の基礎

深井 公（積水ハウス(株)）

地質・地形・地盤の調査、土砂災害

諏訪 靖二（諏訪技術士事務所）

盛土・切土・擁壁の安定

中岡 時春（阪神高速技術(株)）

地盤の液状化

大島 昭彦（大阪市立大学大学院）

参加人数：23名

「地震・耐震工学」に関する講習会

日 時：平成29年11月30日(木) 13:30～17:10

会 場：大阪府男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター） セミナー室

内容と講師：

地震・耐震工学概論

後藤 浩之（京都大学）

耐震設計の基礎

鍬田 泰子（神戸大学）

耐震補強の基礎

篠原 聖二（阪神高速道路(株)）

参加人数：19名

【4】若手セミナー

第5回若手セミナー ～地盤工学の基礎講座～

日 時：平成29年6月21日(水) 16:00～19:30

会 場：ドーンセンター5階 大会議室2

内容と講師：

開会挨拶

講義 「地震動とその被害 ～2016年熊本地震を事例として～」

後藤 浩之（京都大学）

話題提供2編

服部 匡洋（(一財)阪神高速道路技術センター）

松丸 沙織（復建調査設計(株)）

閉会挨拶

参加人数：47名

第6回若手セミナー ～地盤工学の基礎講座～

日 時：平成29年9月29日(金) 16:00～19:30

会 場：ドーンセンター5階 大会議室2

内容と講師：

開会挨拶

話題提供 6 編

高田 直明 (ジェイアール西日本コンサルタンツ (株))
楠目 亮 (神戸市みなと総局)
植村 有馬 (清水建設 (株))
大地 洋平 (兵庫県)
福嶋 孝啓 (阪神高速道路 (株))
服部 匡洋 ((一財) 阪神高速道路技術センター)

閉会挨拶

参加人数 : 21 名

【5】見学会

平成 29 年度 現場見学会 安威川ダム (大阪府) 現場見学会

見 学 先 : 安威川ダム資料館, コア材採取現場

日 時 : 平成 30 年 2 月 21 日 (水) 14 : 00 ~ 17 : 00

参加人数 : 11 名

【6】実技セミナー

第 59 回実技セミナー 「常時微動計測—大阪市内の地盤の揺れを測る」

日 時 : 平成 29 年 5 月 18 日 (金) 10:00 ~ 16:00

会 場 : 大阪大学中之島センター

内容と講師 :

講義と実習

常時微動計測概論—理論・手法と適用例

長尾 毅 (神戸大学)

常時微動計測による地盤振動特性の評価例

平井 俊之 ((株)ニュージェック)

常時微動計測に関する実技

実技により得られた計測結果の整理とその解釈

参加人数 : 27 名

【7】シンポジウム

Kansai Geo-Symposium 2017 —地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—

日 時 : 平成 29 年 11 月 2 日 (木) 8:45 ~ 17:55

会 場 : 関西大学 100 周年記念会館

内 容 :

開会挨拶

小林晃(地下水地盤環境に関する研究協議会)

基調講演「災害から学び、活かす」

常田賢一((一財)土木研究センター)

セッション 1 : 地下水・地盤環境

座長 : 田中宏幸 ((株) 鴻池組)

セッション 2 : 地下水位・地中熱利用(1)

座長 : 小林晃 (関西大学)

セッション 3 : 水質・地中熱利用(2)

座長 : 神谷浩二 (岐阜大学)

セッション 4 : 地震防災

座長 : 山下典彦(大阪産業大学)

セッション 5 : 防災ハザード

座長 : 藤本将光(立命館大学)

セッション 6 : 斜面モニタリング

座長 : 小泉圭吾(大阪大学)

セッション 7 : 地盤耐震

座長 : 山田卓 (大阪市立大学)

セッション 8 : 土砂災害

座長 : 小田和広(大阪大学)

セッション9：調査・試験

座長：片岡沙都紀(神戸大学)

閉会挨拶

楠見晴重(地盤工学会関西支部)

参加人数：134名

1. 2 委員会・研究会報告

【1】 研究委員会

①斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究委員会

目的等：近年極端気象としての降雨強度の強い豪雨に起因する斜面崩壊による災害が多発し、大きな社会問題となっている。現在、各地の自治体は斜面崩壊に対する警戒避難のために、土壌雨量指数や降雨強度など、主として降雨データに依存する情報に基づいて土砂災害発生危険度を判断する土砂災害警戒情報を住民へ提供している。このような主に降雨に基づく情報は、市町村単位などの「ある地域」を対象にした大まかな判断には有用であるが、個別斜面の危険性の判断のためには、斜面に関する情報をほとんど考慮しない点において十分ではない。一方、土砂災害防止法に基づき指定される土砂災害警戒区域においては、土砂災害に対する警戒避難体制の整備が義務づけられるが、これも「斜面単位」に近い広さである。したがって、上記と同様に、降雨情報のみならず斜面の情報をも加味した斜面崩壊発生予測手法に立脚した警戒避難体制を整備することが期待される。「斜面単位」の斜面安定性評価・土砂災害発生予測のためには、実際に斜面内の降雨浸透過程やそれに伴う斜面変形などの動態をモニタリングし、それと解析を組み合わせる斜面安定性評価を行うことが望ましい。以上のような斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価手法を確立するために、本研究委員会では、(1)斜面変状の測定・通信手法の検討、(2)モニタリング結果の分析、(3)モニタリング結果の活用方法の検討を実施してきた。

本年度は、第52回地盤工学研究発表会(9月)、*Kansai Geo-Symposium2017*(11月)において本研究委員会で得られた成果報告を行った。

委員長：深川 良一(立命館大学)

委員数：43名

開催回数：全体委員会 4回、レビュー部会 2回、計測部会 1回、利用部会 2回

②関西の地盤情報に基づく防災ハザードマップ開発研究委員会

目的等：2011年3月の東北地方太平洋沖地震災害や2015年9月の関東・東北豪雨災害など、地震や豪雨などの自然災害が多発し、甚大な被害を引き起こしている。このような近年の自然災害の規模・頻度を鑑みて、引き続き国土強靱化が進められており、その中でも、より正確な災害リスクを捉えるためには地盤情報を取り入れた防災ハザードマップの整備が重要と考えられる。特に関西では各機関の地盤情報を集約した「関西圏地盤情報データベース」及びそれを基に構築した250メッシュ地盤モデル「関西圏地盤情報ライブラリ」が整備されており、地盤情報を有効に活用することができる状態にある。そこで、本研究委員会では、関西圏地盤情報データベースを有効活用して自然災害に対する自然地盤、土構造物の被害予測と防災対策について調査研究し、その成果を用いて防災ハザードマップを開発し、具体的に社会に発信することを目的としている。防災ハザードマップを開発していく上で、被害予測や防災対策について社会にわかりやすく情報発信できるようマップの表現や情報の発信方法等の研究を行い、市民の防災意識の向上や防災行政の一助となることを目指す。

2年目となる本年度は、(1)地震による揺れやすさと液状化検討、(2)地震・豪雨による土砂災害検討、(3)防災ハザードマップ検討の各検討グループでの活動を中心に各WGにて議論を進めてきた。本年度は、*Kansai Geo-Symposium2017* (11月)において本研究委員会で得られた成果報告を行った。

委員長：大島 昭彦 (大阪市立大学)

委員数：33名

開催回数：全体委員会 4回、WG1 4回、WG2 4回、WG3 4回

【2】地域地盤研究会

①福井地域地盤研究会

目的等：福井地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、福井地域内の活動をより活発にするため、計3回の講演会を実施した。これら講演会は、福井県建設技術公社との共催、NPO 福井地域地盤防災研究所の後援を受けている。

委員長：荒井 克彦 (福井大学名誉教授)

委員数：100名

開催回数：3回 平成29年6月29日(木) 第73回福井地域地盤研究会 (講演会)
平成29年9月13日(水) 第74回福井地域地盤研究会 (講演会)
平成29年12月1日(金) 第75回福井地域地盤研究会 (講演会)

②和歌山地域地盤研究会

目的等：和歌山地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、和歌山地域内の活動をより活発にするため、6月に講演会を実施した。また、今年度は平成23年台風12号による土砂災害現場に関する調査を5月に実施した。

委員長：江種 伸之 (和歌山大学)

委員数：37名

開催回数：1回 平成29年6月28日(水) 第1回和歌山地域地盤研究会 (講演会)

③滋賀地域地盤研究会

目的等：滋賀地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、滋賀地域内の活動をより活発にするため、県内外から参加者を得て11月には滋賀地盤講演会「今後の土木構造物設計・斜面モニタリング」(関西地質調査業協会滋賀支部が共催)を開催した。また、5月に開催された防災市民フォーラム滋賀2017「滋賀の地盤災害と防災を考える－豪雨と地震－」の後援を行った。

委員長：深川 良一 (立命館大学)

委員数：50名

開催回数：1回 平成29年11月26日(月) 第29回滋賀地盤講演会

【3】地盤工学広報企画委員会

目的等：関西支部地域に在住する一般市民や小・中・高校生を主たる対象とし、土や地盤に関連する様々な事柄について興味と関心を持ってもらい、地盤工学に関する関心を高めるこ

とにより社会貢献を行うことを目的に、種々の活動を行った。また、ホームページ上で広報企画委員会の予定行事のお知らせと参加募集、行事实施報告の掲載と適宜更新などを行った。

委員長：乾 徹（京都大学大学院）

委員数：12名

開催回数：委員会（5回）、市民特別講演会（1回）、ふるさと地盤診断ウォーク（1回）、工業高等専門学校・工業高等学校生対象見学会（6回）、出前授業（8回）

「工業高等専門学校・工業高等学校生対象見学会」

①実施日時：平成29年6月22日（木）10:00～11:30

参加者：兵庫県立篠山産業高等学校 土木科1、2年生64名、教職員6名

見学先：日高豊岡南道路水上トンネル工事

②実施日時：平成29年7月12日（水）終日

参加者：神戸市立科学技術高等学校 都市工学科1年生84名、職員4名

見学先：阪神高速道路大和川線シールドトンネル工事・常磐工区開削トンネル工事

③実施日時：平成29年7月12日（水）10:00～

参加者：兵庫県立東播工業高等学校 土木科2年生41名、教職員2名

見学先：新名神高速道路神戸ジャンクション東工事

④実施日時：平成29年8月28日（月）10:00～

参加者：大阪府立西野田工科高等学校 建設都市工学系2年生39名、教職員4名

見学先：阪神高速道路大和川線常磐工区開削トンネル工事

⑤実施日時：平成29年10月30日（月）13:00～15:00

参加者：福井工業高等専門学校 環境都市工学科3年生50名、教職員2名

見学先：阪神高速道路大和川線シールドトンネル工事

⑥実施日時：平成29年11月1日（水）10:00～16:00

参加者：大阪市立都島工業高等学校 都市工学科2年生55名、教職員4名

見学先：阪神高速道路大和川線シールドトンネル工事／阪急京都線・千里線淡路駅周辺連続立体交差工事

「ふるさと地盤診断ウォーク」

①日時：平成29年11月11日（土）8:30～13:30

行き先：保津峡コース

講師：江原竜二（東大阪市建設局）、北田奈緒子、越後智雄、井上直人（地盤研究財団）

参加人数：24名

②日時：平成29年10月28日（土）悪天候のため中止

行き先：奈良あやめ池コース

講師：管野 耕三（大阪教育大学名誉教授）

「市民特別講演会」

題目：第22回和泉市防災とボランティア市民の集い 防災講演会

日時：平成30年1月20日（土）9:30～11:30

会場：和泉市コミュニティセンター3階多目的ホール

内容と講師：

開会挨拶

辻 宏康（和泉市長）

楠見晴重（地盤工学会関西支部支部長）

講演「和泉市の地盤と自然災害」

菅野耕三（大阪教育大学名誉教授）

講演「みんなの協働で、災害から命を守ろう」

片瀬範雄（神戸防災技術者の会）

参加人数：217名

「出前授業」

①日時：平成29年4月1日（土）

出前先：大和郡山市九条町スポーツ会館（113名）

授業題目：九条地域の地盤と自然災害－災害に備えよう－

講師：菅野 耕三（大阪教育大学名誉教授）

②日時：平成29年5月25日（木）

出前先：大阪狭山市消防本部（35名）

授業題目：大阪狭山市の地盤と自然災害－災害に備えよう－

講師：菅野 耕三（大阪教育大学名誉教授）

③日時：平成29年6月18日（日）

出前先：貝塚市立浜手地区公民館（21名）

授業題目：地盤の液状化－そのメカニズムを考える－

講師：木全 卓（大阪府立大学准教授）

④日時：平成29年9月2日（土）

出前先：大和郡山市社会福祉会館（55名）

授業題目：郡山の地盤と自然災害－備えましょう－

講師：菅野 耕三（大阪教育大学名誉教授）

⑤日時：平成29年9月11日（月）

出前先：広陵町立総合保険福祉会館（約80名）

授業題目：奈良の自然災害－備えましょう－

講師：菅野 耕三（大阪教育大学名誉教授）

⑥日時：平成29年11月14日（火）

出前先：堺市立南八下小学校（84名）

授業題目：流れる水のはたらき

講師：菅野 耕三（大阪教育大学名誉教授）

⑦日時：平成29年11月25日（土）

出前先：大阪市立長吉南小学校（約55名）

授業題目：アフリカで村人と一緒にぬかるんだ道を直す

講師：木村 亮（京都大学教授）

⑧日時：平成30年1月20日（土）

出前先：大阪市立長吉南小学校（約55名）

授業題目：土のうを利用した道直し（実習）

講師：木村 亮（京都大学教授）

【4】表彰委員会

目的等：支部活動の活性化等を図るため、支部会員の地盤工学の学術・技術の向上・普及に貢献した活動を表彰する制度に対し、その選考を行う。

委員長：伊藤 淳志（関西大学）

委員数：9名

開催回数：1回（委員会1回、ヒアリング・選考会1回）

1. 3 総会・役員会等報告

【1】総会

平成29年度支部通常総会

日時：平成29年4月17日(月) 17:00～18:00

会場：大阪市中央公会堂

参加者数：511名（出席者183名、委任状出席者328名）

【2】顧問懇談会

日時：平成30年1月22日(月) 11:00～12:00

会場：大阪キャッスルホテル

【3】評議員会

・第1回評議員会

日時：平成29年4月17日(月) 14:00～15:30

会場：大阪市中央公会堂

・第2回評議員会

日時：平成29年5月29日(月) 16:00～17:00

会場：関西大学うめきたラボラトリ

・第3回評議員会

日時：平成29年11月21日(火) 16:15～17:15

会場：TPK ガーデンシティ大阪梅田

【4】幹事会

開催回数：6回

【5】支部活性化WG

開催回数：6回

【6】代議員懇談会

日時：平成29年9月25日(月) 14:00～16:00

会場：関西大学うめきたラボラトリ

【7】合同委員会

・第1回合同委員会

日時：平成29年8月2日(水) 14:00～16:00

会 場：関西大学うめきたラボラトリ

・第2回合同委員会

日 時：平成29年1月22日(月)15:30～17:30

会 場：大阪キャッスルホテル

【8】関西支部60周年記念事業実行委員会

・第1回実行委員会

日 時：平成30年1月22日(月)14:00～15:00

会 場：大阪キャッスルホテル

・第2回実行委員会

日 時：平成30年3月23日(金)15:30～17:00

会 場：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）